

鹿田施設：岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL：086(235)7445 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp

Homepage：http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/

津島北施設：岡山市北区津島中 3-1-1 TEL：086(251)8473

Homepage：http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/tsushima_kita_hp/index.html

津島南施設：岡山市北区津島中 1-1-1 TEL：086(251)8382

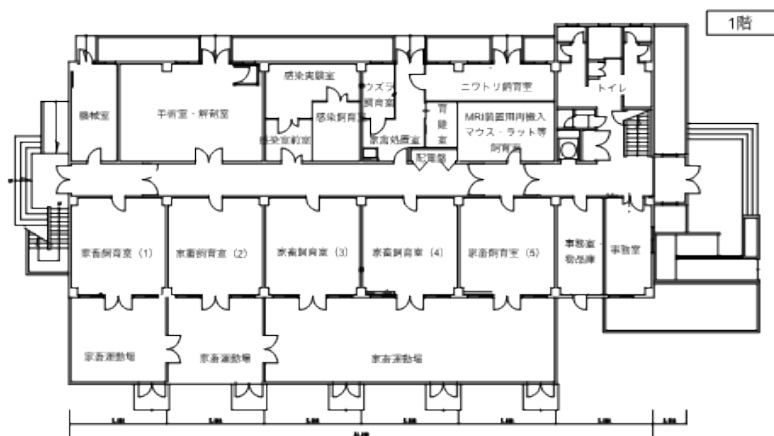
Homepage：http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/tsushima_minami_hp/index.html

津島南施設の改修工事が終了し、一部稼働を開始しました。

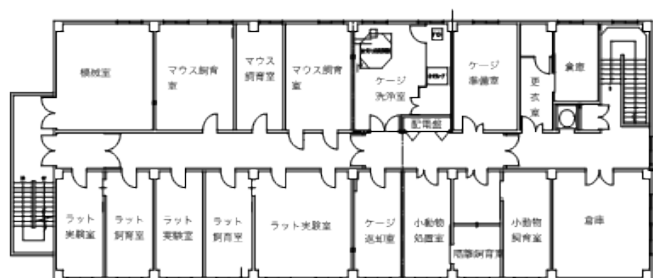
昨年10月から半年間にわたって行われていた動物資源部門津島南施設の空調機器等改修工事が完了し、6月より一部稼働を開始しました。今回の工事では、老朽化した空調機器の置き換えのほか、特に1階部分の室配置を大きく変更しました。

①再搬入可能なマウス・ラット飼育室を新たに設置しました。

これまで薬学部棟に設置されているMRIを用いた動物実験では、撮像後の動物の保管には一時保管制度を利用せざるを得ず、長期経過観察実験では制限が生じる場合があります。今回の整備により通常の飼育室から搬出した動物をMRI撮像後、新設した再搬入飼育室に再度搬入し継続飼育をすることで、MRIを用いて長期的な経過観察をするという使い方が可能となります。



2階



上写真) マウス・ラット一時保管室

左図) 改修工事後の津島南施設平面図

②ヤギなど家畜の飼育環境を大きく改善しました。



これまでは鹿田施設で処置した家畜を中長期にわたって経過観察する場合、鹿田地区では屋外飼育ができないことから、動物の well-being に配慮することは困難でした。今回津島南施設の1階家畜飼育エリア南側中庭を改造、ここに動物を放して自由に運動させるスペースを確保しました。なお、鹿田施設取扱いの動物の輸送及び飼育に関しては施設職員が責任を持って行います。

③鹿田施設保管の凍結胚を津島南施設でも分散して保管することにしました。

鹿田施設で保管している凍結胚を津島南施設でも分散して保管することとし、万が一鹿田施設で何らかの事故が起こった場合などのバックアップを確保します。なお、このサービスに伴う追加の利用料は発生しません。

④感染実験室に安全キャビネット、個別換気型飼育ラックを設置しました。

家畜用の感染実験室、飼育室を整備しました。新たに安全キャビネットと個別換気型飼育ラックを設置し、BSL-2レベルの感染実験を可能とする環境を整備しました。



当初予定では3月31日付で工事が終了し、飼育室のクリーンアップの後に5月中旬には全面稼働開始を見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症をめぐるマスク、キャップ、ガウン等の保護具の入手困難から、現時点でも稼働開始のめどが立っておりません。マスクはようやく手に入るようになったもの

の、価格は半年前の10倍。ガウンはまったく手に入らない状況が続いています。前述の1階家畜飼育エリア、感染実験室、再搬入室と家禽飼育・実験室はすでにオープンしておりますが、2階のマウス・ラット飼育エリアはまだ先が見通せません。

このような限られた運用ではありますが、動物資源部門津島南施設は、鹿田施設、津島北施設との一体運用、ワンストップサービス化を進め、より多様なニーズにお応えできるような体制を築いてまいります。

